

英語科学習指導案

日 時 平成26年6月5日(木) 公開授業 I
学 級 岩手大学教育学部附属中学校
2年D組39名
会 場 2B教室
授業者 芳 門 淳 一

1 単元名 LESSON 3 "For Our Future" (NEW CROWN ENGLISH SERIES 2)

2 単元について

(1) 生徒観

生徒は昨年までの1年間で、言語材料として be 動詞、一般動詞、3人称単数現在形、現在進行形、助動詞 can、一般動詞過去形と学習を進めてきた。2年生になり学級が変わったものの、ペアやグループでの学習を中心に意欲的に取り組んでいる姿が見られる。事前に行ったアンケートからも、ペアやグループ学習によって、力が身につく、自分の考えが広がる、わからないこと等を気軽に話すことができると77% (N: 39) が感じていた。本単元でも、ペアやグループ学習を効果的に取り入れながら、集団で向上しようとする意識を継続させたい。

表現活動としては、これまでの単元において、英文絵日記を書く活動や Retelling 活動に取り組んできた。これらの活動を繰り返し行うことで、まとまった英文を書くことや話すことに対しての抵抗感が薄れてきている。単元の表現活動に対して、導入の工夫による動機付けを大切にしながら、英文に対しての抵抗感をなくし、読むことや書くことの楽しさを感じさせたいと考える。

本単元の題材は「地球環境の未来について考えること」である。事前アンケートにおいて、地球環境に興味のある生徒は69% (N: 39) であった。また、地球環境で知っていることを記入させたところ、温暖化、砂漠化、オゾン層の破壊、エルニーニョ現象、森林破壊、酸性雨、海面上昇と数多くの環境問題に関する言葉が挙げられた。地球環境に目を向けること、世界での環境問題を考えることにもつながってくると思われる。本単元を学習することで、日本のみならず、世界での環境問題や未来に関して自分の考えを表出させたい。

(2) 教材観

本単元では地球環境の未来について考えることを題材にしている。世界の子どもたちが集まる国際会議の案内ポスターがはられた掲示板に、生徒たちが集まる場面から GET Part1 が始まる。さらに、環境問題をはじめとする社会的な課題について、それを大人に委ねるのではなく、自らの問題として世界会議の席で議論しようとする子どもたちの姿が描かれている。この題材を通して、地球環境の現在の課題について学ぶと共に、地球環境に目を向けたセヴァン・スズキのことを紹介しながら地球環境の未来について考えさせたい。また、単元導入時には現在の地球環境問題を映像を活用しながら、生徒とやりとりをすることで興味・関心をもたせたい。言語材料としては、未来を表す表現の will と be going to、接続詞の that や助動詞の must を学習する。接続詞の that を学習することで、それを伴った I think that ~ や I hope that ~ を用いて、自分の考えや思いを伝えることができる。また、助動詞の must や will を用いることで必要性や意志も表現することが可能となり、それらの表現を活用することで、今までよりも豊かに表現をすることができると考える。そこで本単元では、それらの言語材料を継続的に使用させることで定着を図りたい。単元後半には、教科書本文や環境問題に関する資料を読み、その内容について、第三者に自分の言葉で伝えるという活動 (Retelling) に取り組む。その際には、読んだ感想や自分の考えをつけ加えさせたい。また、最終的には地球環境問題や未来に関して、自分の考えを述べさせたい。

本単元でも言語活動の充実のために、「聞くこと」では「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること」、「話すこと」では「つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫を

して話を続けること」、「書くこと」では「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと」を意識させながら授業を展開する。「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の技能の統合を意識した指導を心がけたい。

(3) 学びの自覚化について

本校英語科では「学びの自覚化」において、「自らの変容の自覚」に視点を置いている。「変容」とは1時間や単元、年間の学習における本人の変化、考えの変化のことである。「変容の自覚」ではその変化がどうして起きたのか、その過程に気づくことで、さらに主体的に学習に励むことが期待される。英語科の特性により、生徒は徐々に言語材料が身につく、スパイラルに学習を積み重ねることで、使える表現も増えてくる。年間や単元を見通して計画的にフィードバックを取り入れ、自らの変化を自覚させたいと考える。そのために、単元の導入時には、単元構想やゴールの表現活動を学習前に生徒と共有したい。そうすることで、教師だけでなく生徒自身の学習への意欲を高められると考える。また、言語活動においては、言語材料を定着させるための言語活動にとどまらず、意識的に内容に踏み込んだ表現活動をゴールに据える。さらに、学習履歴シートを効果的に活用し、生徒の変容を視覚的に残すことで、自らの学びを自覚させ、主体的な学びへとつなげたい。

2学年では年間を通した表現活動のテーマを「My Dream」とし、様々な視点から単元ごとに表現活動を行わせる。学年ごとに年間を通した表現活動テーマを設け、それと同じ題材で英作文活動を行ったり、それにつながる言語活動を年間を通して段階的に行ったりするというものである。また、それぞれの単元においては、教科書題材に関連させた表現活動を取り入れている。本単元では、表現活動のゴールを **What do you think about the earth?**とし、地球環境の現状と未来について自分の考えも含め伝えることとした。単元の導入では、地球の写真を用いて、地球や地球の歴史について、既習事項を用いて述べ、学習履歴シートに英文で記入させる。そうすることで、単元前に表現できること、表現したいけれど英語で表現できないことを自覚させたい。学習を通し学んだことやできようになったことを履歴として残しながら、ゴールの表現活動に取り組みせることで変化を自覚させたい。さらに、未来の表現を英語で表現させることにとどまらず、自分の考えや得た情報を伝えることを通して、まとまった英文を話したり書くことに慣れさせたい。単元での表現活動を繰り返しながら、2学年の年間表現活動テーマである“**My Dream**”につなげたいと考える。また、それらを効果的に育成する手段の一つとして、生徒同士での学びあいを取り入れながら、「学びの自覚」を促し、コミュニケーション能力を総合的に高めていきたい。

表1 2学年の年間英作文テーマ“My Dream”の表現活動に至るまでの学習計画

総合学習		単元	主な言語材料	主な題材	主な表現活動
4	1 2 3	Lesson 1 Aloha!	一般動詞の過去形	ハワイの伝統文化 春休みの思い出 (絵日記)	【絵日記】(Writing) 春休みの思い出
5	1 2 3 4	Lesson 2 A Calendar of the Earth	be動詞の過去形 過去進行形 接続詞 when	地球の歴史 自分史エッセイ	【自分史エッセイ】(Writing) 誕生から現在まで
6	1 2 3 4	Lesson 3 For Our Future	未来を表す表現 接続詞 that	地球環境の未来 ニュースに挑戦 休日の予定は?	【地球環境の未来について考えよう】 What do you think about the earth? (Speaking)
7	1 2 3	Lesson 4 Enjoy Sushi	There is [are] … 動名詞	日本の各地域の食文化 Enjoy Sushi 何を見て、何を見る? 町の名所を紹介しよう	【プレゼンテーション①】 岩手のおすすめと良さを伝えよう
8	1	Let's Read 1 A Pot of Poison	読み物 (ドラマ)	劇 (狂言) を読む	【英語劇】
9	1 2 3 4	Lesson 5 My Dream	不定詞	将来の夢 スピーチを読む スピーチ「私の夢」	【私の夢】(Speaking) 将来の夢ややりたいこと
10	1 2 3 4	Lesson 6 Uluru	give + A + B lookなど + A	旅と地域の文化 新聞のコラムを読む 空港の対話を聞く 問い合わせの手紙を書く	<ul style="list-style-type: none"> 相手意識 (Speaking) これからを見つめる スピーチの構成 未来時制・不定詞 その他、既習表現すべて
11	1 2 3 4	Lesson 7 Good Presentations	比較	様々な視覚的表現 ウェブサイトを読む プレゼンテーションを聞く 人気があるものは何?	【プレゼンテーション②・③】 <ul style="list-style-type: none"> アンケートや調査をして発表しよう 他国紹介～おすすめの国は?
12	1 2 3 4	Lesson 8 India, My Country	受け身形	多言語の国インド スピーチを読む 世界の国を知ろう	【他者から学ぶ】(Reading) 何かのために生きる人の生き方に触れる
1	1	Let's Read 2 Landmines and Aki Ra	読み物 (平和)	物語を読む	<ul style="list-style-type: none"> 他者の人生、夢に触れて感じたことを交流する (Writing)
2	1 2 3 4	まとめ My Dream			【私の夢②】 これまでの自分、今の自分、これからの自分を見つめる
3	1 2				<ul style="list-style-type: none"> 相手意識 (Writing) 既習表現すべて 自分の成長の自覚

2学年

【他者から学ぶ】

テーマ

「誠をもって働く」とはどのようなことか

3 単元の指導目標

(1) 指導目標

- ①地球環境の未来，現状や課題について，相手に自分の考えを伝えることができるようにする。
- ②キーワードを参考に教科書本文や英文資料の Retelling させる。
- ③新言語材料（未来を表す表現と接続詞 that）の文の構造を理解させる。

(2) 評価規準

外国語表現の能力	① 地球環境の未来，現状や課題について，相手に自分の考えを伝えることができる。 ② キーワードをもとに教科書本文や英文資料の Retelling を行うことができる。
言語や文化についての知識・理解	① 未来を表す表現 will，未来を表す表現 be going to~, 接続詞 that に関する知識を身につけている。

4 単元の指導計画および評価計画

時間	主な学習内容と学習活動	評価規準	評価方法
1 本時	○本単元で学ぶ題材や身に付ける言語材料を知る。 ・本単元のゴールの表現活動を確認する。 ・本単元で学習する言語材料や題材に関する絵や写真について，既習事項を活用し表現する。 ・地球の歴史について LESSON 2 の既習事項を参考に相手に伝える。 ・地球や地球環境現状を，写真や映像を通して知る。 ・地球環境の今と未来について考え，英文でまとめる。		
2	○未来を表す表現 will の文の構造を理解し，使う。 ・未来を表す表現を用いた文の構造を知る。 ・教科書本文を通して，未来を表す表現の使い方を理解する。 ・教科書本文の内容を理解し，音読練習をする。 ・教科書本文をすらすら読めるようにする。 ・未来を表す表現 will を用いた文を使えるように練習をする。 (Listening/Speaking/Writing のパタンプラクティス及び言語活動を行う)	言知 ①	後日ペーパーテスト
3 ・ 4	○未来を表す表現 be going to~を用いた文の構造を理解し，使う。 ・未来を表す表現 be going to~を用いた文の構造を理解する。 ・未来を表す表現 be going to~を用いた文を使えるように練習をする。 (Listening/Speaking/Writing のパタンプラクティス及び言語活動を行う) ・教科書本文のポールと久美の対話の内容を理解する。 ・教科書本文をすらすら読めるようにする。 ・休日の予定について，インタビューしその内容を英文で	言知 ①	後日ペーパーテスト

	まとめる。		
5	○接続詞 that を用いた文の構造を理解し、使う。 ・接続詞 that を用いた文の構造を理解する。	言 知 ①	後日ペーパーテスト
6	・接続詞 that を用いた文を使えるように練習をする。 (Listening/Speaking/Writing のパンプラクティス及び言語活動を行う) ・教科書本文のメイリンとナシードの対話の内容を理解する。 ・教科書本文をすらすら読めるようにする。		
7	○パンフレットに書かれてある内容をおおまかに読む。 ・教科書本文を読む前に、写真やタイトルから内容を推測する。 ・キーワードを参考に黙読し、関係のある語句にアンダーラインを引きながら、いつ、誰が、何をしたか、何を伝えているか、大まかな内容を読み取る。		
8	○パンフレットに書かれてある発表者の発表要旨を詳しく読み取る。 ・タイトルごとに発表要旨を「話題」「主な主張・提案」の形で自分の言葉でまとめる。 ・本文を精読し、英問の答えや post-reading について考える。 ・本文の音読練習を行う。		
9	○教科書本文のリテリングを行う。 ・教科書本文の内容について、対話にて確認をする。 ・教科書本文をすらすら読めるようにする。 ・キーワードを抽出し、それを参考に小タイトルごとに Retelling をする。 ・パンフレットに書かれてあることを紹介させる。 ・ Retelling したことを書き出す。	表②	観察評価 (後日、似たようなパフォーマンス評価も実施)
10	○セヴァン・スズキについて知り、自分達にできることを考える。 ・1992年のサミットでのスピーチを見る。 ・セヴァン・スズキについての資料を読む。	表①	学習シート
11	○地球環境を題材にした資料を読み、自分の考えを伝える。 ・地球環境を題材にした資料を読む。 ・読み取った情報を第三者に伝えあう。 ・題材に関して自分の考えを述べる。 ・未来の地球のために私たちができることを考え、英文でまとめる。	表①	観察評価 (後日、似たようなパフォーマンス評価も実施)
12	○ニュースや天気予報を聞いて、要点を聞き取る。 ・英語ニュースや天気予報を聞き取る。 ・各地の天気についてレポートする。 ・英語ニュースを見る。		
13	○単元のまとめを行う。 ・パフォーマンステストを実施する。	言 知 ① 表 ① ②	単元ペーパーテスト VTR 撮影
14			

5 本時について

(1) 主題 「For Our Future ～地球環境の現状と未来について考えよう～」

(2) 指導目標

- ① 地球環境の現状を知り、What do you think about the earth?のトピックについて、考えを交流しようとする。
- ② What do you think about the earth?のトピックについて、自分の考えを英文で書こうとする。

(3) 本時の評価

本単元ではコミュニケーションへの関心・意欲・態度については評価しないが、本時の形成的評価として、What do you think about the earth?のトピックに対し、ペアで交流をしようとしているか、また、考えを英文で書こうとしているかを観察を中心にみとる。

(4) 指導の構想

本時は単元の題材である地球環境の現状と未来についての導入と単元のゴールの表現活動についての提示を行う。各単元で活用している学習履歴シートを用いながら、Before Lessons への取り組みを中心に授業を展開する。本時では、1枚の地球の写真から話題をスタートさせ、写真から見た地球やその歴史について既習事項を用いて表現させる。さらに、本題材に迫るために、地球環境についての画像や映像を活用しながら、地球環境の現状を提示したい。教師とのインタラクションで全体提示を行い、What do you think about the earth?のトピックについて考えさせ、ペアでの意見交流を行う。交流後にトピックについて学習履歴シートに英文でまとめる。単元学習前に英文にまとめることで、どの程度のことが表現できるか、または表現したいけれど表現できないことがどんなことかを自覚させ、単元の学びを主体的に行う姿勢を育みたい。そうすることで、単元学習後に変容が期待できると考える。

また、Warm-up では日頃からインプットトレーニングに取り組んでいる。新出語句を中心にした英文のトレーニングであるが、言えるようになった数やタイムを意識させることで自分の成長を感じさせ、学びの自覚化に迫りたいと考える。

本時の授業だけではできるようになったことを自覚させることは難しい。あくまでも単元の導入として扱い、現時点での持てる最大限の英語力使い、言語活動や表現活動に取り組みせる。英語でのインタラクションを取り入れながら、生徒自身にもできるだけ、英語を話したり、書いたりするように支援したい。

(5) 本時の展開

段階	学習内容及び学習活動	時間	■学びの自覚化との関わり
導 入	0. 3分前学習 (英語の歌 Let it go)		
	1. あいさつ	1	
	2. Warm-up ・ Words / Phrase インプットトレーニング	7	■継続して取り組むことで成長する自分に気づく。
	3. 単元の表現活動の確認 ・ 学習履歴シートにおいて単元のゴールの表現活動と本単元の学習内容について確認する。	3	■単元ゴールを確認することで単元の見通しをもつ。
	4. Today's Goal ・ 本時の学習内容と目標を確認する	1	
For Our Future～地球環境の現状と未来について考えよう～			
展 開	5. Before Lessons-1【言語材料】 ・ Telling about the picture. (絵は本単元で学習する言語材料や題材に関するもの) ・ Writing about the picture.【Before Lessons】	7	■単元前にどの程度、既習事項で表現できるか学習履歴シートに記す。書きたいことが表現できない自分に気づく。
	6. Step1 Retelling ・ 地球の写真について教師と対話する。 ・ Lesson2 の既習事項を参考に、地球の歴史について知っていることを話す。(ペア→全体)	8	■既習事項を使って、どのくらい話せるようになったか感じる。
	7. Step2 地球環境の現状確認 ・ 地球環境に関しての映像を見る。 ・ 教師の説明やインタラクションを通して、地球について考える。	5	
	8. Step3 ペアで意見交流 ・ What do you think about the earth?のトピックについて考えたことをペアで伝えあう。	5	■英語で、表現しなかったけれど伝えられなかったことを感じる。
	9. Step4 Sharing ・ ペアで話したことをもとに、全体に紹介する。	3	
終 結	10. Step5 Before Lessons-2 現時点での自分の考えを英文で書く。【Before Lessons】 ・ Step3 で述べたことをもとに、学習履歴シートに記入する。 ・ 表現したくてもできなかった点についてはメモを残しておく。	9	■学習履歴シートに記入し、単元後の内容と比較しフィードバックに活用する。
	11. あいさつ	1	